（その三）

工場又は事業場の名称	日鉄建材株式会社 君津鋼板工場

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
２ １	２ ２	３ １	５ ６	９ １					

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考 ３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 1	2 2	3 1	3 2	3 4	5 6	9 1			

(その三)

工場又は事業場の名称	日本製鉄株式会社 東日本製鉄所　君津地区

(2)揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容
(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
2	2	3	1	3	3	3	9	5	4	2	1	2	3	2	9	9	3	4	9

対策 11		対策12	
5	1	5	6

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策4について

VOCを含むガス冷却設備の排気を副生ガス配管に回収致します。

対策8について

洗浄剤を再利用することにより、洗浄剤の廃棄量を削減致します。

対策10について

VOCを含む軽油タンク・蒸留塔の排気を副生ガス配管に回収致します。

備考　3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容
(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
2	2	3	1	3	3	3	9	5	4	2	1	2	3	2	9	9	3	4	9

対策 11		対策12	
5	1	5	6

(その四)

工場又は事業場の名称	日本製鉄株式会社 東日本製鉄所　君津地区

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度 2000年度
使用量 (kg／年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	47000000. ×10
排出等の量 (kg／年度)	2800000.
処理回収率 (%)	99.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数(基)
0

備考

1　この項の提出は任意であること。

2　基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。

3　使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。

4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

{(使用量－排出等の量)／使用量}×100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
22	31	33	39	54					

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策4について

VOCを含むガス冷却設備の排気を副生ガス配管に回収しております。

備考　この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は 事業場の名称	富士石油株式会社 袖ケ浦製油所

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1	5 2								

その他対策（19、29、39、49、59、99）を記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対象油種の充てん出荷施設には平成2年3月までに炭化水素回収施設を付設し、出荷充てん時に排出されるVOCの約95％を回収している。
また固定屋根式の屋外貯蔵タンクに対象油種を貯蔵する必要が生じた場合は、その都度当該タンクを浮屋根式（又は内部浮屋根式）に改造した後に対象油種を導入することでVOCの排出抑制に努めてきている。
したがって、弊所においては既にVOC排出抑制に実施可能な設備対策は全て済ませている。

現時点で具体的な計画があるわけではないが、今後も屋外貯蔵タンクに対象油種の貯蔵をする必要が生じた場合等は、必要な設備対応を完了した後でなければこれを実施しないことでVOC排出抑制に努めていく。

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1	5 2								

（その四）

工場又は事業場の名称	富士石油株式会社 袖ケ浦製油所

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成12年度
使用量 (kg/年度) （1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	6.4×10 0 9
排出等の量 (kg/年度)	240000.
処理回収率 (%)	100.

基準年度までに，浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数 （基）

備考

1　この項の提出は任意であること。

2　基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。

3　使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
（使用量で1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）。

4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。
｛（使用量－排出等の量）／使用量｝×100

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
41	52								

その他対策（19、29、39、49、59、99）を記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

【対策1（41）について】
「環境の保全に関する協定書」（以下、単に「協定」という。）の定めに基づき、対象油種を固定屋根式タンクに貯蔵する必要が生じた場合は、これを浮屋根式（又は内部浮屋根式）に改造後に導入することでVOCの排出抑制に努めている。
【対策2（52）について】
平成2年3月に充てん出荷設備に炭化水素回収設備を設置し、出荷充てん時に排出されるVOCの約95％を回収している。当時「協定」の定めでは炭化水素回収設備の運転期間を光化学スモッグ注意報等の発令される4月から10月の間とされていたが、弊所ではVOCのより積極的な回収を図るため当初より年間を通じ回収設備を運転してきている。
もし、炭化水素回収設備が設置されていないとした場合、基準年のVOC排出量は460000kgと試算され、これを基準年の排出量と仮定すると、本計画書の計画年度と目標年度の排出量は約13％の削減率となる。

備考　この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	旭化成株式会社　製造統括 本部川崎製造所千葉工場

（2）　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

（1）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2 9	5 4	2 1	5 1	3 1					

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

・(対策1)　原料タンクのブリザー弁の点検等、確実な工程管理を継続する。

備考　3（2）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（1）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
2 9	5 2	5 3	5 4	2 1	5 1	3 1			

(その三)

工場又は事業場の名称	ＰＳジャパン株式会社 千葉工場

（２）　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 9	3 2	5 3	5 4						

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

（対策１）原料スチレンタンク温度管理を徹底し、調合工程でのガス発生量低減を継続していく。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 9	3 2	5 3	5 4						

(その三)

工場又は事業場の名称	東邦化学工業株式会社 千葉工場

(2) 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 3	3 2	5 2	5 3	9 1				

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 3	3 2	5 2	5 3	9 1				

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社ＡＤＥＫＡ 千葉工場

(2)　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
5 2	9 1	5 3							

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考　3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
5 2	9 1								

(その三)

工場又は事業場の名称	スーパーレジンクラフト株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	9 1	9 2						

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	9 1	9 2						